

モーリシャス豆知識・小話 第7号

2017年11月

(1) モーリシャスのショッピングモール

先日トリアノン・モールのスーパーマーケット「ショップライト」で火災が起きましたが、皆様被害などなかったでしょうか。犠牲になられた方、またそのご家族には衷心よりお悔やみ申し上げたいと思います。

今回は悲しみの場となってしまいましたが、国内に点在しているこうした郊外型大型ショッピングモールは今やモーリシャス人の日常生活に欠かせない存在ですね。夜でも週末でも家族でショッピングに、デートで、はたまた単に涼みに行く所として、様々な形で人々が憩う場所です。逆に首都ポートルイスは十分なスペースもなく、年中渋滞、快適にショッピングを楽しめる場所も少なく、コーダン・ウォーターフロントを含めても主だった店は夕方5時には店じまい、夜間は暗くて怖いくらい。よって市民はますます首都を避けて郊外に行くのでしよう。



ショッピングモール Bagatelle

(2) モーリシャスのビジネスランキング



以前、このコラムでもちらっと言及しましたが、モーリシャスは中高所得国としてアフリカのトップを走る国です。本年9月末に世界経済フォーラムの「国際競争力レポート 2017-2018」が、同10月末に世銀の「Doing Business 2018」がそれぞれ発表されたのですが、それを見ても、我々のモーリシャスはサブ・

サハラ地域で見事に 1 位を維持しています。しかも世界順位を見てもビジネス環境の良さを測る「Doing Business」では昨年の 49 位から今年は 25 位に大躍進しているのではないですか！（競争力ランキングでは昨年も今年も変わらずに 45 位）参考までですが、いずれのランキングでも南アフリカは今年世界順位（サブ・サハラ内の順位も）を下げているのが目立ちます。

ちなみに Transparency International が本年 1 月に発表したサブ・サハラ諸国の腐敗認識指数（順位が高い方が腐敗していない）では、モーリシャスはボツワナ、カーボヴェルデに次いで第 3 位につけています（同世界順位 50 位）。新聞ではよく汚職の記事が出ていますが、まあクリーンな部類の国なのですね。そういえば空港出入国時でも、他のアフリカ諸国でよく見られる、ちょっとこっちに、なんて別室に引っ張りこんで難癖つけてカネをせびる不届きな係官もいないなあ。モーリシャスはグッドガバナンス指標でもアフリカトップの国です。

国としての市場は確かに小さいけど、アフリカでも円滑な貿易投資ができる希少な環境が整っているだけに、ここを経由地あるいは拠点にともにアフリカ市場を狙う日本企業に是非出てきてほしいものです。これ読んでくださった日本企業の皆様、是非よろしく御検討ください！当館も精一杯お手伝いさせていただきます。

● 「Doing Business 2018」のプレスリリース（報告書のダウンロードもできます）

<http://www.worldbank.org/ja/news/press-release/2017/10/31/doing-business-records-nearly-3200-reforms-in-15-years-to-improve-business-climate-worldwide>

● 「国際競争力レポート 2017-2018」（Data のところで、国別のデータがとれます。）

<http://reports.weforum.org/global-competitiveness-index-2017-2018/#topic=global-themes>